

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2009年10月27日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No.59】

革マル「豊玉アジト」はJR連合や国労を探る拠点か！？

前号、前々号で紹介した、警視庁公安部が1998年1月に摘発した練馬区内の革マル派非公然アジトを、警察は「豊玉アジト」と呼んでいる。既出の革マル派を特集した広報誌「焦点」(258号)では、「非公然アジト『豊玉アジト』の実態」として、次の通り記載している。

平成10年1月、警察は、東京都練馬区内において、革マル派の非公然アジト「豊玉アジト」を摘発しました。このアジトには、偽造した警察手帳や公安調査官証票のほか、14,000本にもものぼる鍵、約400本の印鑑、大量の工具類や文書類、さらに、9年5月、神戸市須磨区で発生した小学生殺人及び死体遺棄事件(以下、神戸事件と言う。)の検事調書を写しとったと思われる文書を記録したフロッピーディスク、室内を盗聴して録音したと思われるカセットテープ等同派による違法行為を証明する品々が大量に隠されていました。これらの品々は、同派が、組織的に、他人の居宅等に侵入して物を盗んだり、盗聴器を仕掛けたりするなどの違法な調査活動を行うために使用、あるいは、それにより入手されたものとみられます。

「豊玉アジト」からJR関係資料が段ボール40箱分8千点押収されたことは前々号で述べた。西岡研介著「マンガローブ」(講談社)は、同アジトについて「革マル派の非公然部隊が、住居侵入や盗聴などあらゆる非合法手段を駆使し、国労やJR連合の情報収集を行っていた実態が明らかになった」と解説している(p.226)。

なお、「豊玉アジトが入っていた練馬区の6階建ての雑居ビルには、『松崎の側近』といわれる、JR東労組の女性幹部の名義で借りている部屋があったことが、公安部の調べで判明している」とも記載しているが、これは、とても偶然とは思えない。

荒唐無稽な「少年A冤罪説」を唱える革マルと東労組！

革マル派が異常な関心を示す神戸事件とは、有名な「少年A」による連続児童殺傷事件である。「焦点」は、警察は押収品を基に「少年A」の検事調書等を盗んだ事件など、神戸事件に関して同派が敢行した多くの違法行為を解明したことを記載している。また同誌は「荒唐無稽な『権力謀略論』」と題し、「(革マル派は)神戸事件について、『少年犯行説はデッチあげ』、『CIA主導の謀略的権力犯罪』などとおおよそ健全な国民には理解されないような荒唐無稽な主張を機関紙等で展開しています」と解説し、「内ゲバ」を「権力の謀略」と述べていることにも言及した。JR総連も「内ゲバ」に対し、革マル派と同じ主張をしていることはすでに検証したが(No.19参照)「マンガローブ」では、神戸事件に関しても「少年A冤罪説」を唱える東労組役員がいることを、以下の通り紹介している(p.221)。

-(前略)-驚くべきことに革マル派が唱えた「少年A冤罪説」を追認していた集団がある。ほかでもない、松崎に支配されたJR東労組だ。JR東労組の若手組合員が証言する。「-(中略)-JR東労組が主催した広島での『平和学習』に参加したことがあったのです。参加者が東京に集まって、バスで広島に向かったのですが、そのバスに乗っていたJR東労組の“偉い人”がバスの中で演説中、『少年Aは冤罪だ。あの事件は国家権力の謀略だ』などと言い出したのです。-(後略)-

JR総連・東労組の組合員の読者で、同じような経験をした方はいないだろうか。もしそのような役員がいたら、革マル教育で相当洗脳されているとみるのが自然だろう。